

「移動電源車」
ベトナム進出の記事が掲載されました

2013年12月20日 中部経済新聞7面掲載

産業機器メーカーの神鋼造機（本社大垣市本今町、米谷剛人社長、電話0584・89・3121）は、ベトナムで移動電源車の現地生産販売に乗り出す。現地ニーズにあった低電圧用の廉価車両に仕様変更。コベルコグループの現地法人に生産委託し、来年秋から市場投入する。初年度に20台の販売を目標にしている。（大垣）

神鋼造機 ベトナム進出

移動電源車を生産・販売

同社は2011年にホーチミン市に初の海外営業拠点を開設し、市場調査を進めてきた。

現地では電力需要拡大に伴う電気工事の増加や計画停電に加え、このところの台風被害で工事作業や緊急時の電源確保が問題になっている。また、携帯電話の急速な普及による基地局増設などで補助電源としても移動電源車への関心が高まっている。

こうした中、今月初旬に現地の政府関係者や電力・通信事業者ら約10



ベトナムでの「移動電源車セミナー」を踏まえて廉価車両を市場投入する

0人を集め、3日間にわたって移動電源車セミナーを開催。国内の大手ユーザーに同行してもらい、同車両の機能や活用事例などを紹介した。

セミナー会場での具体的な質疑やアンケートなどから、同地では日本国内の標準低電圧車（150 KVA）より低い80〜100 KVAレベルで対応が可能。低コストな車両に対するニーズが高いことがわかった。

このため、現地ニーズに合わせた仕様設計変更とともに機能も最低限にして、車両価格を国内の半額（1200万円程度）に抑えた廉価車両を開発。現地のグループ会社で生産し、来年秋にも販売を開始することにした。

ニーズ 仕様は低電圧で廉価に

ては市場調査を始めて

いる。